

科目名 Class	入学年度 Admission Year	開講学年・学期 School Year, Semester	単位数 Credit	必・選	授業担当者 Instructor	実務 経験
初級簿記	219～	1年生・前期	2単位	必修	坂根 純輝	
簿記 I	～218	1年生・前期		選択		
履修の前提条件	<p>本学では、日本商工会議所主催の簿記検定3級の取得を推奨しています。しかし、簿記を学んだことのない学生にとって簿記3級の内容を修得することは難しいと考えられます。そこで、本講義では、簿記3級の内容を段階的に修得するために簿記3級より簡単な日商簿記検定初級レベルの講義を展開します。簿記検定初級の内容を修得するために、初級簿記テキスト及び簿記検定向けの電卓を購入しておいてください。</p>					
授業概要 (Course Outline)						
<p>企業を経営管理するためには会計情報の知識が必要になります。そして、簿記がわからなければ会計情報を正確に理解できません。よって、将来企業の経営管理に関わることになるであろう経営情報学部を卒業する学生には最低限の簿記の知識が必須となってきます。本科目では、簿記の中でもとりわけ複式簿記を扱っていきます。複式簿記とは、経済主体が行う経済活動によりもたらされる資産・負債・純資産・費用・収益の増減を二面的に記録する手法のことです。</p>						
授業を通して修得できる力 (Competency Goals)						
知識・理解の観点 Knowledge and Understanding	多文化・異文化に関する知識の理解 Multiple Culture / Different Culture					○
	人類の文化・社会と自然に関する知識の理解 Human Culture / Society / Nature					
汎用的技能の観点 Generic Skills	コミュニケーション・スキル Reading / Writing / Speaking / Listening					○
	数量的スキル Mathematics					
	情報リテラシー Information Literacy					
	論理的思考力 Logical Thinking / Creative Thinking					
	問題解決力 Problem Solving					
態度・志向性の観点 Personal Qualities	建学の精神 University Founding Philosophy					○
	自己管理能力 Self-management					
	チームワーク Teamwork					
	リーダーシップ Leadership					
	倫理観 Ethical Sense					
	市民としての社会的責任 Social Responsibility					
生涯学習力 Lifelong Learning						
到達目標 (Objectives)						
<p>①簿記の基本概念及び記帳計算の基礎を理解できる。 ②日常の手続きを理解し、仕訳及び勘定記入ができる。 ③決算の意味を理解し、試算表の作成ができる。 ④簿記一巡の手続きを理解し、財務諸表作成までの計算構造を理解できる。 ⑤簿記の機能と役割を理解できる。</p>						
事前学習の内容	次の講義までに、前回の講義の内容をもう一度復習してください。					
事後学習の内容	講義で解いた問題をもう一度解いてください。					
能動的学習【アクティブラーニング】の内容 (Active Learning)						
学生からの積極的な発言を期待します。なお、毎回授業中に知識の定着を図るためにミニテストを実施します。						
教員との連絡方法・オフィスアワー (Office Hour)						
連絡、問い合わせ、相談等は研究室(551)にて随時受け付けます。連絡先はsakane@kiis.ac.jpです。						
その他 (Others)・外部試験との関連・学習の確認(ポートフォリオの作成と提出)について						
<p>外部試験:日本商工会議所主催の簿記検定初級及び簿記検定3級と授業内容が関連しています。 学習の確認:ポートフォリオシートの作成に関しては講義中に説明します。</p>						

授業計画 (Course Schedule)			
テーマ Theme			
第1回	オリエンテーション		
第2回	簿記の意味と目的、簿記を学ぶ意義		
第3回	貸借対照表、資産、負債、純資産		
第4回	損益計算書、収益、費用		
第5回	簿記上の取引、取引の8要素、総勘定元帳		
第6回	仕訳と仕訳帳		
第7回	勘定転記、貸借平均の原理、伝票		
第8回	中間試験		
第9回	現金、当座預金		
第10回	仕入と売上の記帳		
第11回	約束手形、電子記録債権及び電子記録債務		
第12回	貸付金、借入金等		
第13回	固定資産、減価償却、資本の引き出し		
第14回	収益、費用、税金		
第15回	試算表の作成		
第16回	定期試験		
教科書 (Textbooks)			
書名 Title	著者名 Author	出版社 Publisher	ISBNコード ISBN Code
『初級簿記テキスト』	伊藤・工藤・坂根・東著	中央経済社	978-4502262012
参考文献 (Reference Books)			
書名 Title	著者名 Author	出版社 Publisher	ISBNコード ISBN Code
成績評価方法 (Grading Criteria / Method of Evaluation)			
<p>・成績評価の方法:ミニテスト(30%)、中間試験(10%)および定期試験(60%)を併せて考慮します。※3分の2以上の出席を必須条件とします。なお、日本商工会議所主催の簿記検定初級の試験結果を成績評価の対象にしますが、詳しくは講義内で説明します。</p>			